

「京都府農林水産ビジョン」の見直しについて

農林水産分野の将来像や施策の方向性を具体化した「京都府農林水産ビジョン（令和元年12月策定）」について、「京都府総合計画」の改定を踏まえて、下記のとおり見直しを行う。

記

1 考え方

- (1) 現行計画の進捗を総括するとともに、社会情勢の変化や知事公約を踏まえて改定作業を進めている、新たな「京都府総合計画」を踏まえて、各分野の計画を見直し
- (2) この間の「WITH コロナ・POST コロナ社会における産業戦略（食関連産業分野）」（令和3年6月）や重点施策（フードテック構想、京ものブランド戦略）などを踏まえて、新たに食品産業分野の議論を行い、計画に反映

2 検討委員会委員の選出（10名程度）

《学識経験者》 現行計画の策定に際して御尽力いただいた農業・農村、林業、水産業の各専門分野に加え、新たに食品産業分野の学識経験者を選出

《実践者》 農林水産業、食品産業の実践者を新たに選出

3 スケジュール（予定）

「京都府総合計画」の改定（令和4年12月）から1定例会後の令和5年2月定例会での策定（今年度末に公表）を目指し、年度内に検討委員会を3回開催

10月 第1回検討委員会【現行計画の進捗、情勢変化への対応の方向性等】

11月 第2回検討委員会【見直し案（骨子）に対する意見聴取】（書面開催）

（委員意見を反映した見直し案（骨子）の市町村、団体等への意見聴取）

12月 京都府議会12月定例会 委員会へ報告（見直し案（骨子））

1月 第3回検討委員会【最終案について】 ※開催方法は状況を見て検討

3月 京都府議会2月定例会 委員会へ報告（最終案）

農林水産ビジョン 見直しの考え方について（補足）

現行の農林水産ビジョンは、

- ✓ 従前のプラン（※注1）を全面改定し、新たに策定したもの
- ✓ 人口減少・少子高齢化等の中長期的なトレンドを踏まえたもの
- ✓ 策定から3年弱が経過したところ

であることを踏まえ、

今回は、全面改定を行うのではなく、
現行の農林水産ビジョン策定後に生じた社会情勢の変化に対し、
今後京都府として新たに取り組むべき施策の方向性について議論し、
追加あるいは見直すこととしたい。

◆ 今回、見直しを行う項目

将来ビジョンを実現するための5つの重点戦略に係る

「考え方」や「施策方向」

現行のビジョンの p10~29 に相当

◆ 現行のビジョンを概ね踏襲する項目

- ・ 将来ビジョン（概ね 20 年後に実現したい姿）
- ・ 5つの重点戦略の大まかな柱立て
- ・ 目標数値の項目

現行のビジョンの p2~9、p77 に相当

（※注1）農林水産京カプラン（平成23年度～平成30年度）